

第2次朝来地域まちづくり計画の策定にあたって

2011年に「朝来地域まちづくり計画」を策定してから10年が経過しようとしています。この度、10年経過に伴う社会情勢や地域課題などの変化を反映し、今後も朝来地域が末永く豊かな夢と希望があふれるまちとなるよう、第1次のまちづくり計画を継承しつつ、現状に即した見直しを行いました。

第1次計画策定時からの社会情勢の大きな変化としては、一つに東日本大震災などの自然災害が頻発し、未曾有の被害をもたらすなど平成の大災害時代から令和に変わり、オリンピックの開催など活気がみなぎると期待をしていた矢先、私たちが経験したことのない「新型コロナウイルス」の感染が世界中に拡がり、世界で新型コロナウイルス対策が最重要課題となるなど、社会生活が大きく変化してきていることです。

次に、少子高齢化と人口減少が予想以上に進んでいることに伴い、当初の課題が、より深刻化してきていること。さらには、SNSの普及などにより生活様式が多様化してきていることが挙げられます。また、朝来地域では多々良木地区にあった宿泊施設の閉館や飲食店等の閉店など、地域の活気が薄れてきている状況もありますが、銀の馬車道 鉱石の道が日本遺産に認定、神子畑選鉱場跡が産業遺産に認定されるなど、朝来地域が注目される喜ばしいこともありました。

このような背景のもとで、まちづくり計画に住民皆様の意見を反映するため、中学生以上の方全員を対象にした「まちづくり住民アンケート」を行い、住民皆様の率直な思いやご意見をお伺いし、それらの結果を基にさらに対話を重ねたことで、朝来地域の向こう10年間の未来を描き直すことができました。

これからは、この計画に基づき自治協議会活動を推進していきますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、本計画策定にご尽力をいただきました関係者の皆様、アンケート調査にご協力いただきました関係者各位、住民の皆様に衷心から感謝とお礼を申し上げます。

2021年3月

朝来地域自治協議会 会長 大田垣 強

目次

はじめに 朝来地域まちづくり計画について

1 地域まちづくり計画とは	2
2 地域まちづくり計画の役割	2
3 目標年次と取り組み	2

第1章 朝来地域の現状と課題

1 朝来地域の概要	3
2 朝来地域の紹介と地域資源	4
3 朝来地域自治協議会のこれまでの活動	6
4 朝来地域の人口の構成と推移	10
5 朝来地域まちづくり住民アンケート集計結果	12
6 住民アンケート集計結果報告会・意見交換会のまとめ	15
7 住民アンケート集計結果と意見交換会により見えてきた課題	16
8 まちづくり計画の主要課題	16

第2章 朝来地域が目指す将来像

1 将来像	17
2 基本方針	17
3 朝来地域まちづくり計画ビジョン図（全体像）	18
4 基本方針と施策	20
5 住民が参加したくなる仕組みづくり	25

第3章 まちづくりの推進に向けて

1 朝来地域まちづくりの推進体制	26
2 計画の見直しについて	27

参考資料

朝来地域まちづくり計画策定の経過	28
朝来地域まちづくり計画策定委員会 委員名簿	29

はじめに 朝来地域まちづくり計画について

1 地域まちづくり計画とは

この計画は、当地域のまちづくりに向けた概ね10年後を見据えた中長期のまちづくりの基本方針や施策を示したものであり、朝来地域自治協議会における最上位に位置するものです。第1次のまちづくり計画が概ね10年経過し、この間、社会情勢や地域の状況等が変化していることから見直しを行いました。

見直しにあたり地域住民の皆様の意向を反映するため、中学生以上の方全員を対象に「まちづくり住民アンケート調査」や対話を重ねて計画を策定しました。

2 地域まちづくり計画の役割

この計画は、当地域のまちづくりの指針となる計画であり、以下のような役割を持っています。

1) 地域での活動・事業における役割・関係を明確にする

地域には、様々な活動・事業（安全防犯活動、福祉活動、環境保全活動、文化の伝承、地域の活力づくり等々）があります。それらの役割・関係などの位置付けをはっきりさせておくと、どこに重点を置いたらいいか、新たに取り組むべきものは何か、などが分かりやすく見えてきます。

2) 地域での活動の効率化が図れる

様々な活動が協力・連携しやすくなり、活動を統合するなど効率的な活動を進めていくことができます。

3) 地域に必要な公共サービスの優先順位がわかる

地域に必要な公共サービスを明らかにし体系化することにより、サービスの優先順位が分かりやすくなります。まず、どこに絞って活動したらいいのかが見えてきます。

3 目標年次と取り組み

まちづくり計画とは、長期的な地域のまちづくりの方針や今後の取り組み施策を示すものであり、概ね10年後の地域のあるべき姿を描くことを目標とします。

第1章 朝来地域の現状と課題

1 朝来地域の概要

1) 位置

朝来地域（中川小・山口小の両小学校区）は兵庫県朝来市のほぼ中央部に位置し、西は宍粟市及び養父市、東は朝来市山東町、南は朝来市生野町、北は朝来市和田山町及び養父市に隣接する130.2 km²の地域です。神戸から車で約1時間30分の位置です。

2) 地勢

大部分が中国山地の山々に囲まれた円山川の源流にあり、田路川や佐中川、神子畑川、多々良木川、伊由谷川等の支流は円山川本流と合流し、それらの沿岸に農耕地や集落が点在しています。緑、水資源が豊かな地域であり、四季の変化が明瞭なことも特徴です。

3) 交通

播但連絡道路が地域中央を南北に走り、朝来 IC や道の駅を有し、観光 PR や地域特産物の直売を行っています。また、地域内には国道312号などの幹線道路や市道が走っており、公共交通機関としては JR 播但線の新井駅と青倉駅があります。

4) 人口

朝来地域の人口は2020年10月1日（住民基本台帳）時点で5,480人、世帯数2,258世帯となっており、1世帯あたりの平均世帯人員は2.43人/世帯となっています。

また、65歳以上人口は2,176人で、朝来地域の人口の38.88%を占めています。朝来市全体の65歳以上人口は34.24%であり、旧4町の中では2番目に高齢化率が高い地域となっています。



まちづくり計画の目標年次と取り組みのイメージ

2 朝来地域の紹介と地域資源

佐中千年家

明治・大正時代に日本財界で活躍した「原六郎（進藤俊三郎）」の生家で通称「千年家」と呼ばれ、江戸時代前期に建てられたと考えられています。桜の咲くころには、多くの写真愛好家が隣の池に舞い落ちる桜と共にファインダーに収めています。

丹波黒大豆

県の特産品として全国的に高い知名度と評価を得ており、昭和50年代から朝来地域でも栽培が始まりました。お節料理には欠かせない黒大豆の王様で、この黒大豆を使った味噌も製造されています。

八代茶

県内有数の日本茶の産地である八代の茶園で生産され、日夜の寒暖差が大きく朝霧が日光を遮る環境が香り高く苦みや渋みの少ない茶葉を育て、「朝来みどり」の商品名で販売されています。

神子畑選鉱場跡

かつては鉱山として開拓され、1919年からは明延鉱山から運び込まれた鉱石を選鉱する大規模な機械選鉱場として生まれ変わりました。山の斜面を利用した選鉱場は東洋一と謳われ、24時間稼働しており不夜城とも呼ばれていましたが、1987年に操業終了により閉鎖し、2004年には建物が解体、鉄筋コンクリートの基礎構造物等が残され、迫力あるその姿はまさに「東洋一」を実感できる産業遺産です。

あさご夏祭り

毎年8月16日に朝来グラウンド周辺で花火大会や夜店、ステージイベントなどを行い、地元の方や故郷へ帰省された多くの方々を楽しませています。

クラインガルテン伊由の郷

都市生活者に農業体験等を提供する滞在型体験農園施設で、25区画の農地にはそれぞれロフト付コテージが付いており、また電線を地下埋設するなど、美しい農村風景が広がっています。

青倉神社

青倉山の中腹にある神社で「目の神様」として知られており、御神体の巨岩裏より湧き出る「御霊水」は目の病気に効くと言われ、多くの人たちに持ち帰られています。

道の駅あさご

地場産品の買い物や食事が楽しめる村おこしセンターやログ喫茶などが集まっており、ドライバーのオアシスとして、また地域の憩いの場として親しまれています。

あさご芸術の森美術館

雄大なロックフィル式の多々良木ダム直下に位置し、朝来市出身の彫刻家、淀井敏夫氏の生涯作品の常設展示や、さまざまな企画展やイベントが開催されています。

岩津ねぎ

江戸時代に生野銀山で採掘に携わっていた人々の冬の栄養源として栽培が始まったとされています。白ねぎ（根深ねぎ）と青ねぎ（葉ねぎ）の中間種で、他のねぎにはない豊かな香りと甘さ、柔らかさが特徴です。朝来市内のみで栽培され、11月下旬から3月下旬までの期間限定で販売されています。

岩屋観音堂

60m以上もある岩壁に張り付くように建っている舞台作りのお堂で、その祭壇奥の岩の中には鎌倉時代に心阿が刻んだ石仏が安置されている。



道の駅フレッシュあさご

豊かな自然が一望できるガラス張りの透明感あふれる建物で、旬の農産品や各地の名産品の販売やレストランでは地元の食材を使った特色ある食事を提供しています。

日本遺産認定（2017年）

「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」
姫路市の飾磨港から生野・神子畑・明延までの全長73kmのこの道は、鉱産物、採掘・製錬に必要な資材、生活物資の運搬路でした。生野から神子畑区間が朝来地域内となります。

3 朝来地域自治協議会のこれまでの活動 2008(平成20)～2020(令和2)年度

1) 2008(平成20)年 自治協議会の設立

「自考・自行、共助・共創」の精神を持って、住民自らが夢と希望のあるまちづくりを目指した地域の将来像を考え、その実現に向けて行動し、住みやすい地域を形成することを目的として、自治協議会が設立されました。

2) 運営委員会

区長会開催に併せて、同じく区長によって構成される運営委員会を開催し、自治協議会の運営に関する事項についての審議決定や、部会活動について報告と依頼、及び自治協議会に関連する行政事業の協議を行います。

3) 活動4部会とその他の活動

① 景観・環境部会

●地域内環境の保全・資源リサイクル

- ・ふれあい広場あいにて、マイエンザの作製や配布、普及推進
- ・小学校にてマイエンザ環境授業実施（年間2クラス）
- ・但馬・食文化まつりにて啓発活動
- ・協働のまちづくりフォーラムにてマイエンザの啓発活動
- ・小学校のプール掃除にマイエンザを活用
- *不法投棄防止、犬のフン防止看板制作



小学校にてマイエンザ環境授業

●花と緑の美しい景観のまちづくり

- ・ささゆり広場（プールくじら前公園）の除草・清掃作業
- ・花いっぱいまちづくり事業の補助金の申請受付（1団体2万円以内）
- *あさごフラワーフェスティバルを朝来市と共催



不法投棄パトロール

●自然環境保全の推進・生き物共生

- ・不法投棄パトロール実施
- ・立脇区カタクリ現地確認 丹波市清住かたくりの郷へ視察

*印：現在は行っていない活動

② 安全・安心まちづくり部会

●安心して暮らせるまちづくり

- ・青パト防犯パトロールを中川及び山口小学校区内でそれぞれ年6回、計12回実施
- ・青パト講習会の実施
- ・犯罪・非行防止更生パネルの全区配布
- ・地域間防犯灯の調査



青パト防犯パトロール

●高齢者等災害弱者の被災防止

- ・青パト防犯パトロールに併せ実施

●子ども見守り隊活動

- ・子ども見守り隊活動支援（中川及び山口小学校区防犯グッズ購入補助）
- ・子育て支援活動としても青パト防犯パトロールを実施
- *子育て学習センターに活動場所提供



青パト講習会

*印：現在は行っていない活動

③ 地域活性化部会

●地産地消運動による活性化

- ・市民農園にてさつまいもの栽培、市民農園の一部を貸農園として活用
- ・収穫したさつまいもを朝来ふれあい元気まつりにて焼芋にして提供し、募金を義援金に
- ・神子畑桜まつりに出店
- ・但馬・食文化まつり出店時に岩津ねぎメニューを提供



市民農園さつまいも栽培

●伝統芸能の継承保存

- ・盆踊りの音頭取り・踊り等指導員育成支援
- ・盆踊り音頭取教室が朝来文化祭のあさご劇場に出演（会場の皆さんと総踊り）



朝来文化祭 あさご音頭総踊り

●地域内交流による活性化

- ・神子畑桜まつりに出店参加
- ・あさご夏祭り実行委員に入り活動
- ・あさごキッズタウンの開催（小学生向け職業体験イベント）
- *地域別名スポットマップ作り（アンケート実施のみ、マップは未作成）
- *ふれあいハイキングの開催

*印：現在は行っていない活動

④まなび・スポーツ部会

●ふれあい広場あいを利用した地域外交流

- ・但馬・食文化まつりに出店(岩津ねぎメニュー)
- ・大中遺跡まつりに参加、野菜等の委託販売

●地域間交流の推進

- ・ふるさと朝来会との交流
- ・朝来ふれあい元気まつりに出店参加、子どもの遊び等に協力
- * 3世代ふれあいグランドゴルフ大会を開催

●健康づくり

- ・健康づくり講演会の実施

●朝来市の歴史・文化・魅力学習

- ・あさGOキッズツアーの実施
- * 青い目の人形グーリック三世講演会支援
- * 朝来歴史ふるさとウォークを市教育委員会他と共催
- * ゆかた着付け教室を開催 * 昔あそびイベントを開催



朝来ふれあい元気まつりに出店



健康づくり講演会

*印：現在は行っていない活動

○小学生向け事業

●あさごキッズタウン

- ・小学生向け職業体験イベント（小学生約200名参加）
- ・20余りのブースで様々な職業を体験（テレビ局員、看護師、消防士、猟師、歯科医師等）
- ・仕事の大変さやお金の大切さ、コミュニケーション力等の学習



●あさGOキッズツアー

- ・朝来市内の産業や伝統文化、史跡等の魅力を子ども達に伝えるバスツアー。過去には田治米合名会社、生野銀山、竹田城下町、古代あさご館等を訪問



●朝来こども夢教室

- ・土日や夏休み等、小学校が休みの日に地域で楽しめる教育活動を行う地域学校協働活動を実施
- ・ぬりえコラージュ、もじえ書、パステルアート、書初め教室、茶道教室、やさしい太極拳、キャンドル作り、おもしろ理科実験、電気実験等
- ・朝来文化祭にて作品展示



○広報委員会

- ・夢だより（朝来地域自治協議会誌）及びふれあい新聞（ふれあい広場あい広報誌）を発行し、情報発信
- ・ブログ、フェイスブック、公式LINE等にて情報発信



夢だより ふれあい新聞

○自治協議会事務所

- ・各区、団体への補助事業
 - ① 地域づくり支援事業補助金（防犯灯設置、ゴミステーション整備、公民館修繕等）
 - ② 区活動費補助金
 - ③ 地域協働事業補助金（花いっぱいまちづくり事業、環境保全事業（草刈り助成）、交通安全事業）
- ・地域間防犯灯の設置、維持管理
- ・会議室の貸し出し
- ・コピー及び印刷受付
- ・あさご有機（肥料）代理販売
- ・イベント用品貸し出し（わたがし機、フライヤー等）
- * 県民交流広場事業（2008～2012年）



花いっぱいまちづくり事業

○ふれあい広場あい

- ・マイエンザ（環境浄化微生物）の作製、啓発推進
- ・小学校にてマイエンザ環境授業
- ・喫茶コーナー
- ・常設チャリティーバザー
- ・文書作成代行
- ・神子畑桜まつり、但馬・食文化まつり、朝来ふれあい元気まつり等への出店（岩津ねぎメニュー含む）
- ・ふれあい新聞の発行
- * 野菜市
- * 神戸元町水曜市に出店
- * 移動ポケット作り等の小物作りのミニイベント開催



ふれあい広場あい（朝来支所横）



マイエンザ（環境浄化微生物）

*印：現在は行っていない活動

4 朝来地域の人口の構成と推移

1) 現時点における人口

2020年10月1日時点における朝来地域全体（中川小、山口小の両小学校区）における人口は5,480人、世帯数2,258世帯、高齢者率（65歳以上の比率）38.88%（住民基本台帳より）であり、高齢化率が高くなっています。

さらに行政区別に人口を抽出し、横軸を高齢者率（65歳以上の比率）、縦軸を未成年者率（20歳未満の比率）としたバブルチャートを作成すると、図1のようになります。

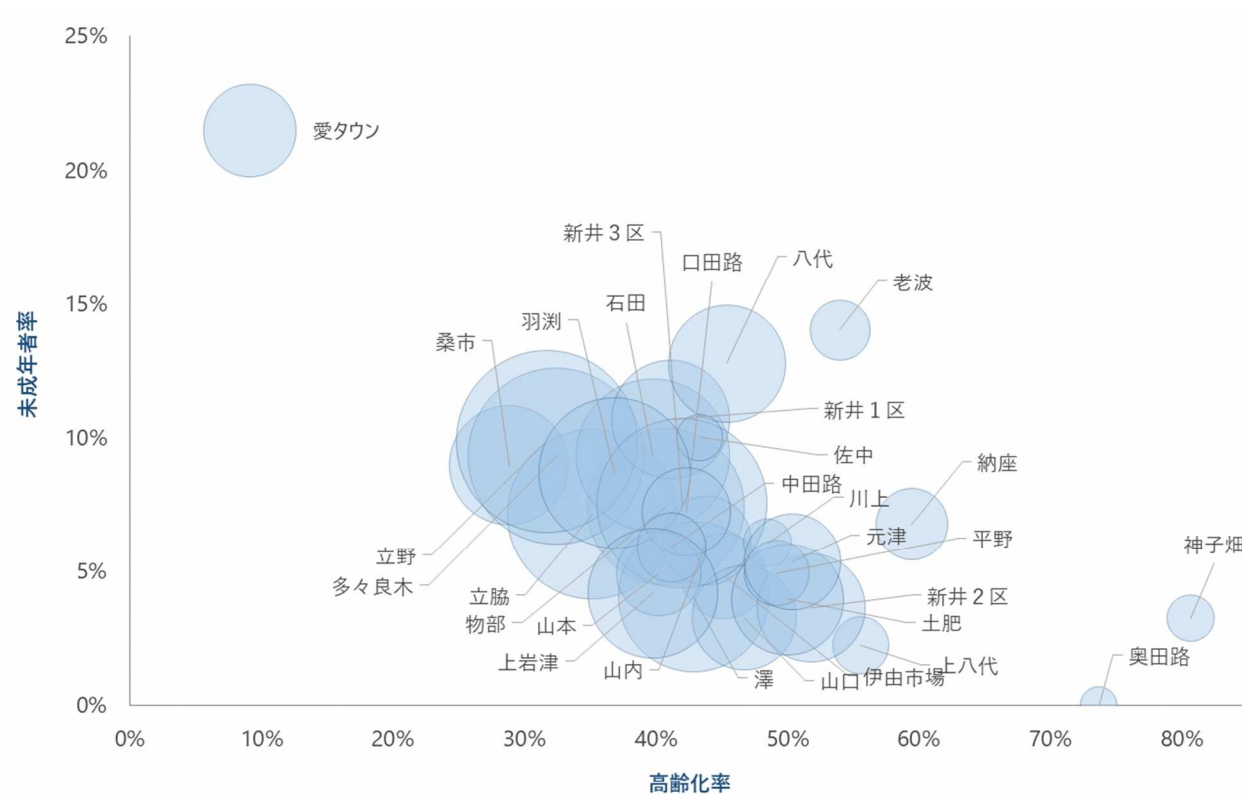


図1 各行政区における人口規模と高齢者率および未成年者率

朝来地域全体で見ると人口規模として19～467人の幅があり、未成年者率は0.0～21.5%の幅があり、高齢者率は9.1～80.7%の幅があります。

このように、朝来地域とひとくくりにしていても、行政区によって人口構成に差があることがわかります。

2) 推測される今後の人口

次に、国勢調査に基づいた朝来地域全体における人口・高齢化率推移実績（2000～2015年）および人口・高齢化率推移予測（2020～2030年）について示します。

横軸に該当する年、縦軸に年代別に積み上げた人口の棒グラフと高齢化率を示した折れ線グラフとすると、図2のようになります。

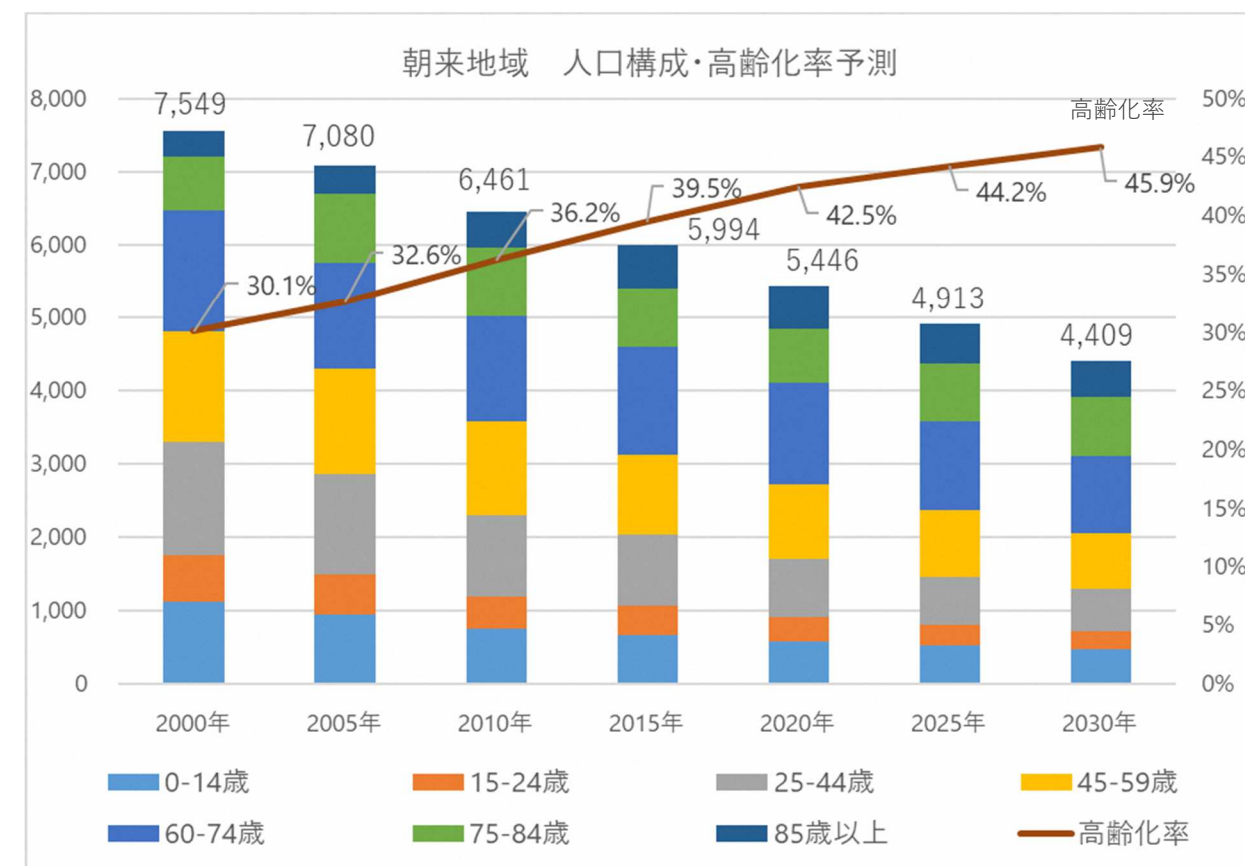


図2 朝来地域内の人口および高齢者率の推計

このグラフからわかることは、朝来地域においては2030年に高齢化率が約46%（2人に1人が高齢者）となり、2000年に比べて人口が約60%に減少することです。

5 朝来地域まちづくり住民アンケート集計結果

1) アンケートの実施内容及び集計結果

- ① 対象者 朝来地域在住の中学生以上 4,590 名
- ② 実施期間 2020年2～3月に配布・回収（回収数：3,702、回収率：80.65%）
- ③ 調査内容 属性調査、暮らしに関する意識調査、朝来自治協に関する意識調査及び地域活動に関する意識調査

※アンケート集計結果の詳細は自治協事務局にて開示可能（問合せ先：裏表紙参照）

上位1位～10位について色を付けており、上位にある項目ほど濃い青としています。

表1 朝来地域での暮らしで特に不便や不安を感じる事、困っている事(性別)

選択項目	ランキング	
	男性	女性
買い物・通院・通学などの移動手段（公共交通機関利用）が不便なこと	1	1
商店・コンビニが少なく、日常の買い物が不便なこと	4	3
医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる事	2	2
生活費が高く感じる事（公共料金等）	8	8
少子化や子育て環境、子どもの保育・緊急時の預け先等に不安がある事	15	17
子どもの安全な遊び場（公園等）・居場所がない事	12	14
学習面や学校関係・教育環境に関する事	19	19
進学・進路に関する事	13	12
仕事・就職先に関する事	3	5
農地・山林の維持管理の事	5	6
地域行事・日役の参加の事	9	9
空き家や今後の家の管理の不安	6	4
気軽に相談できる相手・相談機関がない事	18	16
自分や家族の健康に不安がある事	10	10
災害への備えや避難に関する事	11	11
冬季の除雪に関する事	14	13
福祉サービス（デイサービス・介護施設など）が利用しづらい	17	18
娯楽・息抜き場の場、仲間と気軽に集まれる場所がない	7	7
その他	20	20
無回答	16	15

この表からわかること

- ・ランキングの1位、2位は男女性別で違いが見られない。
- ・全体の傾向としても、男女で順位が大きく異なる項目は見られない。

次に、地域の困りごとや不安ごとを年代別に見たランキングを示します。

表2 朝来地域での暮らしで特に不便や不安を感じる事、困っている事(年代別)

選択項目	ランキング							
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
買い物・通院・通学などの移動手段（公共交通機関利用）が不便なこと	1	2	1	1	1	1	1	1
商店・コンビニが少なく、日常の買い物が不便なこと	2	1	4	3	4	6	5	4
医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる事	9	5	1	2	3	2	4	5
生活費が高く感じる事（公共料金等）	14	6	8	8	8	7	6	7
少子化や子育て環境、子どもの保育・緊急時の預け先等に不安がある事	16	13	10	15	15	15	18	17
子どもの安全な遊び場（公園等）・居場所がない事	6	10	6	10	14	13	13	16
学習面や学校関係・教育環境に関する事	9	15	13	13	18	19	20	20
進学・進路に関する事	4	7	7	6	10	14	16	18
仕事・就職先に関する事	5	3	5	4	2	5	8	12
農地・山林の維持管理の事	13	19	15	11	6	4	2	2
地域行事・日役の参加の事	17	8	9	7	8	10	11	7
空き家や今後の家の管理の不安	7	11	10	8	5	3	3	3
気軽に相談できる相手・相談機関がない事	19	16	18	18	16	18	15	13
自分や家族の健康に不安がある事	15	16	17	16	12	11	7	6
災害への備えや避難に関する事	8	11	14	12	13	8	9	9
冬季の除雪に関する事	12	8	12	13	11	12	12	13
福祉サービス（デイサービス・介護施設など）が利用しづらい	20	20	19	19	16	16	14	15
娯楽・息抜き場の場、仲間と気軽に集まれる場所がない	3	4	3	5	7	8	9	10
その他	17	16	20	20	20	20	19	18
無回答	11	14	16	17	19	17	17	11

この表からわかること

- ・「買い物・通院・通学などの移動手段（公共交通機関利用）が不便なこと」が、全ての年代で1位または2位となっている。
- ・「娯楽・息抜き場の場、仲間と気軽に集まれる場所がない」のランキングは年代によって異なり、若い年代ほどランキング上位となって（濃い色となって）いる。
- ・「空き家や今後の家の管理の不安」と「農地・山林の維持管理の事」のランキングでは、概ね高い年代ほどランキングが上位になっている。

表3 朝来地域での暮らしで特に不便や不安を感じる事、困っていること
(関心度・活動度別)

選択項目	ランキング			
	関心があり積極的に参加している	関心があるがあまり参加していない	関心はないが付き合いで参加している	関心はないし関わりたいとも思わない
買い物・通院・通学などの移動手段(公共交通機関利用)が不便なこと	1	1	1	1
商店・コンビニが少なく、日常の買い物が不便なこと	5	5	3	2
医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる事	4	2	2	3
生活費が高く感じる事(公共料金等)	8	8	9	6
少子化や子育て環境、子どもの保育・緊急時の預け先等に不安があること	15	15	16	16
子どもの安全な遊び場(公園等)・居場所がないこと	11	14	12	13
学習面や学校関係・教育環境に関する事	17	18	15	18
進学・進路に関する事	12	12	10	14
仕事・就職先に関する事	6	3	4	4
農地・山林の維持管理のこと	2	6	6	10
地域行事・日役の参加のこと	14	9	8	8
空き家や今後の家の管理の不安	3	4	5	7
気軽に相談できる相手・相談機関がないこと	19	17	18	15
自分や家族の健康に不安があること	10	11	13	11
災害への備えや避難に関する事	9	10	11	12
冬季の除雪に関する事	13	13	14	9
福祉サービス(デイサービス・介護施設など)が利用しづらい	16	16	19	19
娯楽・息抜き場の場、仲間と気軽に集まれる場所がない	7	7	7	5
その他	18	20	20	20
無回答	20	19	17	16

この表からわかること

- ・「買い物・通院・通学などの移動手段(公共交通機関利用)が不便なこと」が、全てのグループで1位となっている。
- ・「農地・山林の維持管理のこと」が、グループ間でランキングの差が最も大きい。(困りごととしての認識差が大きい。)

6 住民アンケート集計結果報告会・意見交換会のまとめ

2020年11月3日に開催した「朝来地域まちづくり住民アンケート集計結果報告会&意見交換会」の中で、参加者から出された「朝来地域の良い所・魅力」、「将来(未来)に望む姿」、「大切にすべきこと・キーワード」、「自治協議会の役割」を下に示します。

朝来地域の 良い所・魅力

- 自然が豊か 環境が良い
- 野菜づくり・岩津ねぎ
- 子育て環境が良い あいさつ
- 治安が良い 土地が広い
- 移住者の受入 利便性が良い
- 災害に強い 文化・歴史がある
- 人間関係が良い

将来(未来)に望む姿

- 活気のあるまち 働きやすいまち
- 安全安心で住みやすいまち
- 交流が活発なまち 教育の充実
- 助け合えるまち 交通が便利
- 子どもが増える 若者が定住
- 買い物・医療等の充実 生涯現役
- 農業の充実 観光の充実

大切にすべきこと キーワード

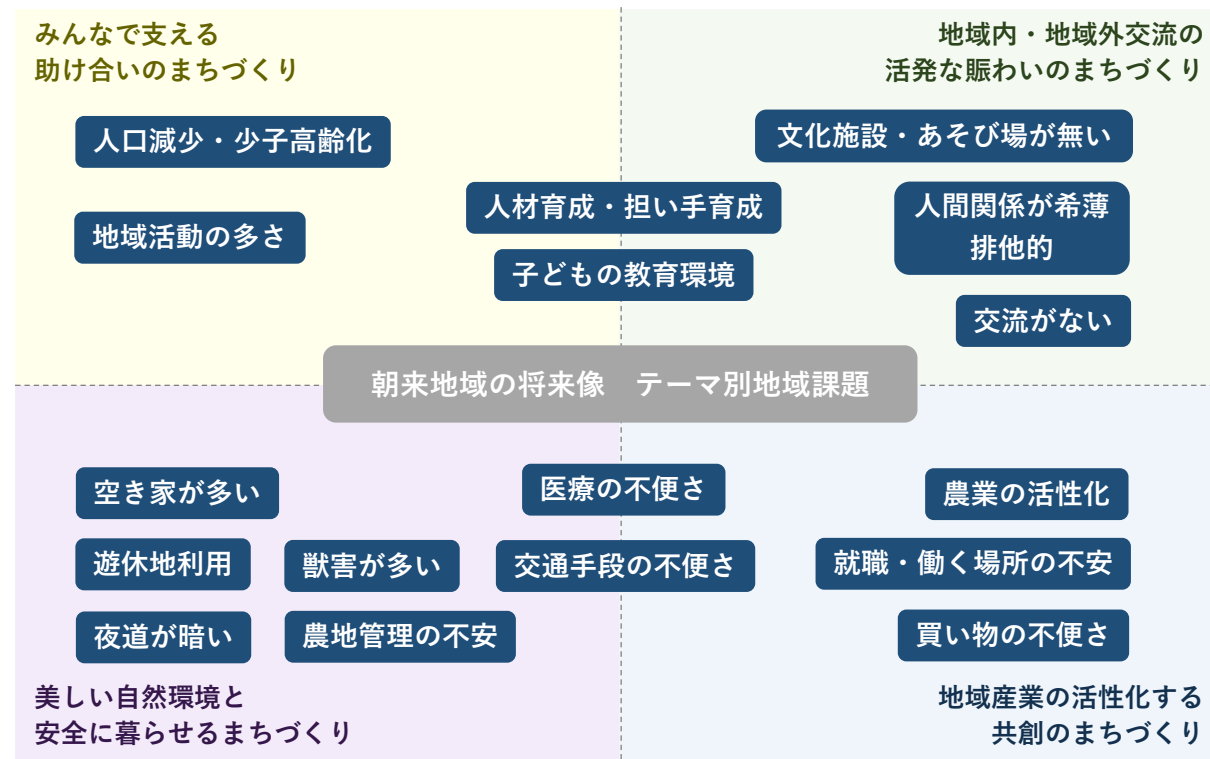
- 地元のPR・地元愛
- 情報共有・発信 交通手段の確保
- 地域みんなで子育て
- 交流の場 つながりの充実
- 農業・自然を守る
- 移住者支援 若者の定住
- 楽しくやれる(好きなことをやれる、
お金が稼げる、夢中になれる)

自治協議会の役割

- 移住支援 相談窓口
- 農地・空き家対策
- 区の活性化支援 地域交通
- 区の情報共有・発信
- つなぐ役割・交流の機会づくり
- 高齢者の暮らしを守る
- 教育・子育て環境の充実

7 住民アンケート集計結果と意見交換会により見えてきた課題

2020年11月3日「意見交換会」の中で参加者から出された「地域課題」を、朝来地域の将来像（詳細は17～24ページ参照）に沿って分類したものを下に示します。



8 まちづくり計画の主要課題

これらの「朝来地域の現状」、「地域住民の意向」、「地域活動の現状」を踏まえて、第2次まちづくり計画の主要課題を以下のとおり設定します。

1) 安全に暮らせる美しい地域環境が必要

2) みんなで支え合うまちの実現が必要

3) 地域産業の活性化が必要

4) 地域内地域外交流の活性化が必要

5) 心豊かなあさごっ子の育成が必要

6) 持続可能なまちづくりのため住民参加意識の向上が必要



2020年11月 住民アンケート集計結果報告会&意見交換会

第2章 朝来地域が目指す将来像

1 将来像

朝来地域は、大部分が中国山地に囲まれ緑豊かな山々から流れ出る清流が、円山川を母なる川として一つになり流れ、それらの沿岸に農耕地や集落が点在して昔と変わることなく生あるものを育てています。このような緑や水資源が豊かな地域にあって、四季の変化が明瞭にある自然美豊かな地域であり、住民アンケートでも自然が美しいとの意見が多いことから、第1次まちづくり計画と変わらぬ豊かな自然環境の恵みの中で、地域住民が生き生きと暮らせるまちづくりを目指すこととし、次のとおり設定しました。

～自然と共生し、
夢と希望のある持続可能なまち～

2 基本方針

将来像である「自然と共生し、夢と希望のある持続可能なまち」の実現に向けて、住民参加意識の向上を図りながら次のとおり5つの基本方針を掲げ、まちづくりに取り組んでいきます。

1) 美しい自然環境と安全に暮らせるまちづくり

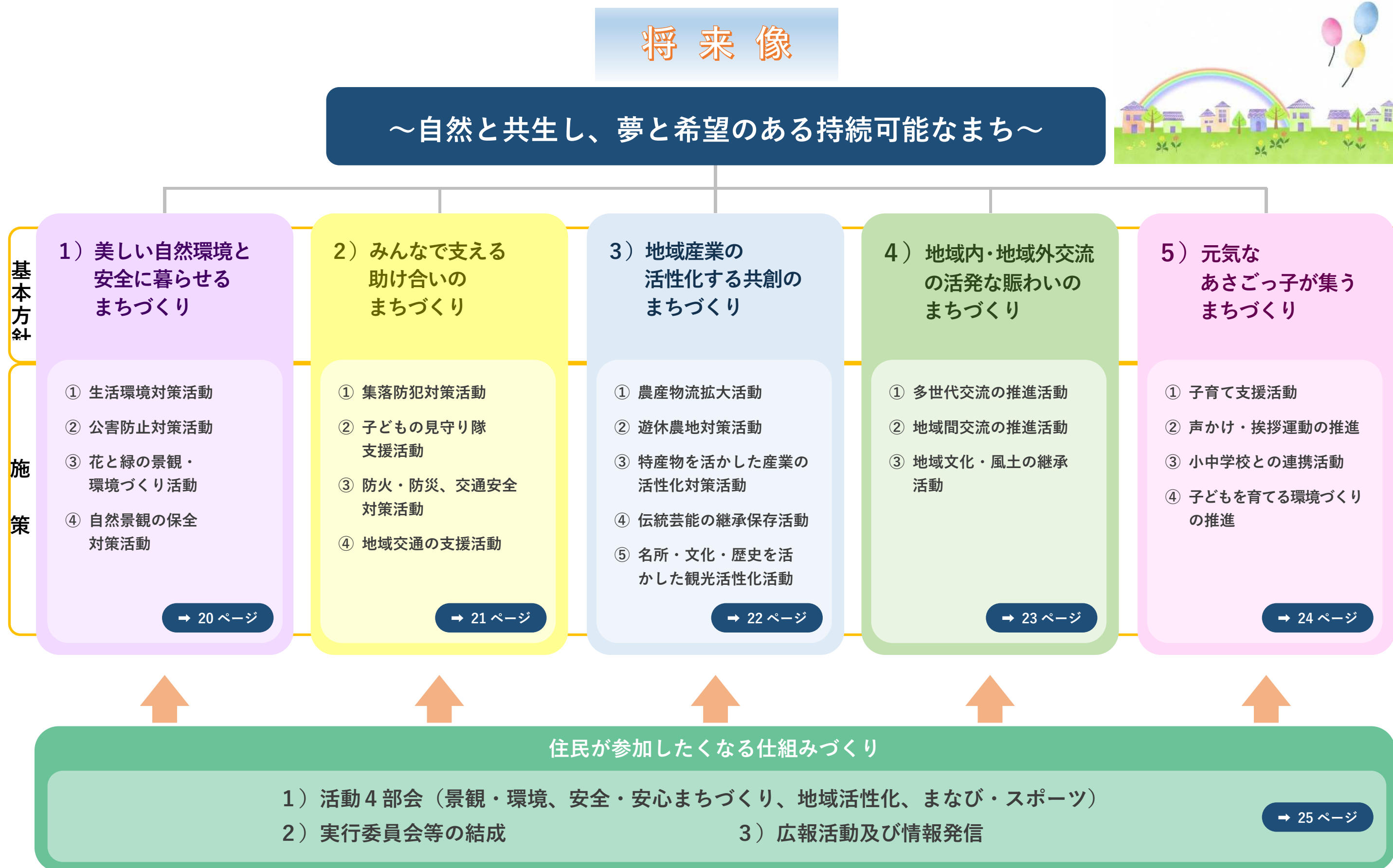
2) みんなで支える助け合いのまちづくり

3) 地域産業の活性化する共創のまちづくり

4) 地域内・地域外交流の活発な賑わいのまちづくり

5) 元気なあさごっ子が集うまちづくり

3 朝来地域まちづくり計画ビジョン図（全体像）



4 基本方針と施策

1) 美しい自然環境と安全に暮らせるまちづくり

朝来地域は自然に恵まれ、水と緑が豊かなことから、ゴミのポイ捨てや不法投棄、遊休農地の荒廃化などにより緑豊かな自然景観が阻害されることのないように、豊かな自然の保全・活用を図るとともに美化活動の推進が必要です。

また、若者が定着せず後継者が住まなくなることで、空き家が増えてきているため、空き家の保全・活用を図ることも必要です。さらに子どもからお年寄りまで市民が安全に活動できる里山や河川の良い環境が必要です。

2) みんなで支える助け合いのまちづくり

少子・高齢化社会を迎え、核家族化の進展や生活様式の多様化などから、家族や地域で互いに支え合う力が弱くなってきています。そのような中、朝来地域においては雇用の確保や人手不足、防犯・災害対策、子育てや老後の不安など様々な問題を抱えています。今後、少子・高齢化はますます進展していくと予想されるため、少子・高齢化社会を踏まえた上で地域での子育てを支援し、高齢者を支えるまちづくりを進めていく必要があります。

施策と事業例

① 生活環境対策活動

マイエンザの普及推進

空き家対策

移住者支援

区の情報を共有・情報発信



② 公害防止対策活動

不法投棄パトロール

啓発看板の設置

啓発チラシの配布

③ 花と緑の景観・環境づくり活動

花いっぱい事業

遊休農地対策



希少植物カタクリの花

④ 自然景観の保全対策活動

河川公園等の清掃

生きもの調査

施策と事業例

① 集落防犯対策活動

地域間防犯灯の維持管理

青パト防犯パトロール



② 子どもの見守り隊支援活動

子ども見守り隊活動への支援



③ 防火・防災、交通安全対策活動

防災訓練

防火防災教室

交通安全講習会

除雪対策

④ 地域交通の支援活動

乗合タクシー

買物支援

通院支援



青パト防犯パトロール

3) 地域産業の活性化する共創のまちづくり

朝来地域は農業が主体ですが、従事者の高齢化や減少などにより、地域産業の衰退や遊休農地・荒廃地の増加による田園・里山環境の悪化が懸念されます。そのため、担い手や後継者の育成や農地の保全・活用を進めていく必要があります。また、市民農園を交流・教育の場として活用することで、交流促進や農業移住者などを募り、遊休農地解消を目指すことも必要です。さらに、多様な地域資源と有機的に結ぶことで観光産業の創出へとつなげ、交流のまちづくりの展開も検討する必要があります。

施策と事業例

① 農産物流通拡大活動

地元農産物の情報発信 減農薬・有機野菜の推進 有機堆肥の販売

② 遊休農地対策活動

遊休農地の有効活用



③ 特産品を活かした産業の活性化対策活動

名物商品開発 市民農園の活用 イベントでの直売活動
イベント用品の貸し出し（わたがし機等）

④ 伝統芸能の継承保存活動

伝統芸能マップ作成 盆踊り音頭取り教室の開催
担い手・指導者育成 朝来文化協会との連携



盆踊り音頭取り教室

⑤ 名所・文化・歴史を活かした観光活性化活動

スポットマップ作成 ボランティアガイド育成 観光情報の発信
イベント企画 レンタサイクル活用 地域の歴史研究

4) 地域内・地域外交流の活発な賑わいのまちづくり

朝来地域には、すばらしい歴史や文化・伝統がありますが、核家族化や少子高齢化が進む現在、世代間交流の場の減少や地域の担い手不足が表面化し、文化や伝統が受け継がれなくなりつつあります。これらを未来へ残していくためには、お年寄りや大人から、子どもや若者へ伝え残していくことが重要です。そのために朝来地域では、世代間や地域内外を問わず様々な交流を通じて、人と人のふれあいを大切にした取り組みを進めていく必要があります。

その取り組みの中で、子どもや若者は知識や伝統を学ぶことができ、さらにお年寄りや大人は子どもや若者から元気もらうことで、お互いが健康で生き生きとした暮らしができる地域づくりを目指します。

施策と事業例

① 多世代交流の推進活動

世代間交流促進事業 健康づくり講演会 ふれあい広場あい

② 地域間交流の推進活動

芸術・文化等による地域外交流 ふるさと朝来会との交流

③ 地域文化・風土の継承活動

名所旧跡ウォークラリー 昔遊びの継承
郷土の魅力学習
伝統文化・地域の祭りの継承支援
人権・生涯学習



あさGOキッズツアー

5) 元気なあさごっ子が集うまちづくり

朝来地域は、中川・山口地区それぞれに小学校、こども園、学童クラブがあり、地域の中心付近に中学校が1校ありますが、近年は少子化や核家族化が進んでいるほか、昔に比べ地域で子どもを育てていく力が弱くなっており、育児不安を抱える家庭が増えてきています。そんな不安を少しでも解消していくことが重要であり、地域全体で地域の宝でもある子どもたちを育てていく必要があります。

その取り組みの中で、子どもが楽しんで暮らせるように、また育み手である地域住民自身も一緒になって楽しんでいけるような地域づくり（子育てハッピータウン）を目指します。

5 住民が参加したくなる仕組みづくり

地域課題の改善に向けた様々な取り組みを行うには、地域の財源が必要となります。そのため、遊休農地や地域資源をうまく活用し、地域住民の能力・技術を活かした財源確保に向けた取り組みが必要です。そのためには、活動の受け皿としての組織づくりを進め、地域住民への周知を行い、地域住民の理解・協力のもとに将来はNPO法人を組織し、行政とNPO法人と住民が連携した活動が必要です。

また、従来まちづくりの主体は行政が中心でしたが、まちづくりへの地域住民の意識の高まりなどを受けて、地域住民はもとより企業、関係機関、各種団体等、様々な主体が関わるようになってきました。しかし、朝来地域においては、特に若い世代の地域行事への関心が低く、地域住民同士の繋がりが薄れていることが懸念されます。そこで、地域行事に参加することを楽しむ気持ちを、地域に必要な事業に「参画する」、「企画する」ことの喜びを、感じられるようにする仕組みづくりが必要です。



施策と事業例

① 子育て支援活動

朝来こども夢教室

あさごキッズタウン

あさGOキッズツアー

② 声かけ・挨拶運動の推進

あいさつ運動

青パト防犯パトロール



あさごキッズタウン

③ 小中学校との連携活動

コミュニティスクールとの連携

地域学校協働活動

登下校見守り隊との連携



朝来こども夢教室

④ 子どもを育てる環境づくりの推進

まちづくりサポーターの結成

親向け講座の開催

行政・生涯学習センター・子育て学習センター・図書館・地域との連携

1) 活動4部会 部会員構成

景観・環境部会

安全・安心まちづくり部会

地域活性化部会

まなび・スポーツ部会

2) 実行委員会等の結成

行政・NPO法人・住民との連携

地域の財源確保

実行委員会・プロジェクト委員会・まちづくりサポーターの結成

3) 広報活動及び情報発信

夢だより・ふれあい新聞の発行

ブログ・SNS・公式LINEでの情報発信

第3章 まちづくりの推進に向けて

1 朝来地域まちづくりの推進体制

これからのまちづくりを実践していくためには、地域住民、企業、関係機関、各種団体等が個々に取り組んでいくものや、相互に連携を図りながら取り組んでいくものなどがあります。そのため、地域の課題解決に向けて互いにまちづくりへの意識の共有を図りながら協働し、住み良い朝来を目指した取組みを進めます。

第1次の朝来地域まちづくり計画を作成してから現在までを振り返ると、協働という点において不十分であったと評価できます。部会員構成についての検討や、当初計画時になかった新しい課題に対応していくため、新しいテーマの活動を行うプロジェクト委員会、もしくは部会の設立も必要です。これらは、今回の計画作成には間に合いませんでしたが、今後の重要な検討事項です。

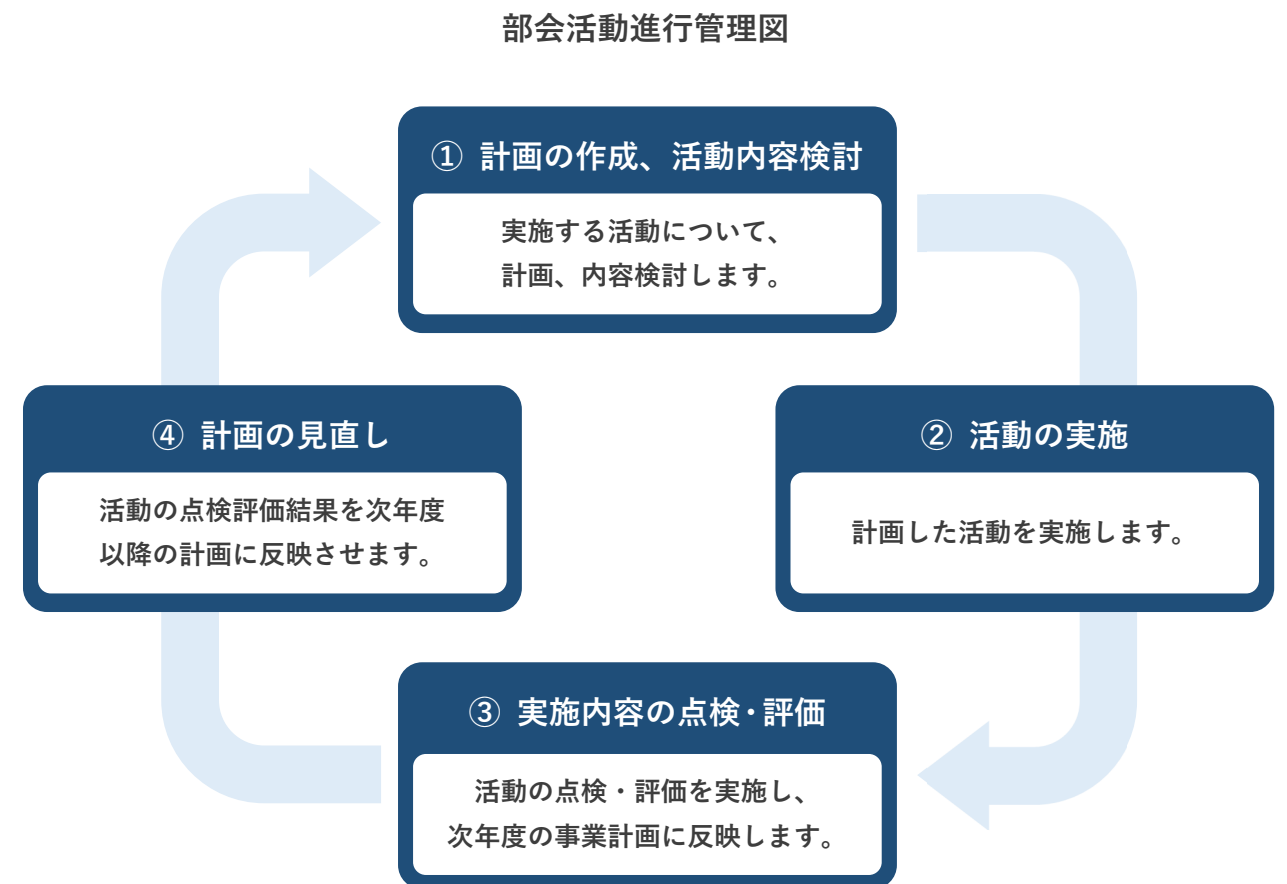


2 計画の見直しについて

朝来地域まちづくり計画は、朝来地域を取り巻く状況の変化に適切に対応するために、3年毎に計画の進捗状況を確認し、常に時代の潮流や地域状況の変化等に対応した計画作りを目指します。

進捗状況の点検については、取り組みの施策の進捗状況を確認し、施策について見直しを行います。また、社会情勢の大きな変化が見られた場合には、必要に応じて「朝来地域が目指す将来像」を見直します。

部会活動については、毎年振り返り地域の状況変化に対応できるように活動内容を随時変更できるものとします。



まちづくり計画策定委員会の様子

○ 朝来地域まちづくり計画策定の経過

第2次朝来地域まちづくり計画の策定に至るまでの経過をまとめました。

開催日	会議名等	会議内容等
2019年4月12日	自治協運営委員会	まちづくり計画見直しの必要性説明
2019年7月19日	自治協運営委員会	住民意向調査実施に向け説明
2019年9月20日	自治協運営委員会	住民意向調査実施の議決及び 住民意向調査計画策定委員会設置の議決
2019年11月15日	第1回住民意向調査計画策定委員会	朝来版アンケート作成について意見交換
2019年12月9日	第2回住民意向調査計画策定委員会	アンケート（案）の検討協議対象は中学生以上全員に決定
2019年12月19日	自治協運営委員会	アンケート作成進捗状況説明
2020年1月16日	第3回住民意向調査計画策定委員会	アンケート内容の検討修正
2020年1月17日	自治協運営委員会	アンケート（案）提示説明配布、回収方法説明
2020年2月6日	第4回住民意向調査計画策定委員会	アンケート修正協議（最終）
2020年2月18日	アンケート配付	各区へアンケート配付
2020年3月25日	アンケート回収完了	各区よりアンケート回収
2020年5月21日	第5回住民意向調査計画策定委員会	アンケート集計方法、まちづくり計画策定協議
2020年5月21日	第6回住民意向調査計画策定委員会	アンケート集計分析委託業者協議 まちづくり計画作成アドバイザー協議
2020年8月1日	朝来地域自治協議会活動を語る会	アンケート結果で自治協活動に興味がある方との意見交換
2020年8月26日	第1回まちづくり計画策定委員会	アンケート集計結果報告会と集計結果報告会について協議
2020年9月28日	第2回まちづくり計画策定委員会	アンケート集計結果報告会と意見交換会開催に向けての協議
2020年10月14日	まちづくり計画策定委員打合せ	11月3日の報告会の内容、意見交換会の手法について協議
2020年11月3日	アンケート集計結果報告会と意見交換会	アンケート集計結果報告会と意見交換会開催（あさご・ささゆりホール）
2020年11月25日	第3回まちづくり計画策定委員会	報告会と意見交換会まとめ及び計画策定手法・作業班編成等
2020年12月8日	第1回まちづくり計画書作成作業班会議	計画書作成手法、進め方協議計画書作成箇所分担
2020年12月21日	第2回まちづくり計画書作成作業班会議	分担の計画書案について検討協議
2021年1月14日	第3回まちづくり計画書作成作業班会議	まちづくり計画書（案）について検討協議
2021年1月25日	第4回まちづくり計画策定委員会	作業班のまちづくり計画書（案）について検討協議
2021年2月12日	自治協運営委員会	まちづくり計画書（案）について協議

○ 朝来地域まちづくり計画策定委員会 委員名簿

朝来地域自治協議会

職	氏名	役職・部会等
委員長	大田垣 強	朝来地域自治協議会 会長
副委員長	松島 貞雄	地域活性化部会 部会長
委員	谷口 寛	朝来地域自治協議会 副会長
委員	細谷 信義	朝来地域自治協議会 副会長
委員	加門 邦彦	朝来地域自治協議会 会計
委員	椿野 純夫	朝来地域自治協議会 顧問
委員	村田 公夫	景観・環境部会 部会長
委員	足立 哲夫	安全・安心まちづくり部会 部会長
委員	山内 隆治郎	神子畑鉱石の道推進協議会 会長
委員	ケビン ネル	地域おこし協力隊
委員	陰山 瑞穂	朝来地域自治協議会 事務員
委員	福山 千尋	朝来地域自治協議会 事務員

事務局

事務局長	池野 正幸	朝来地域自治協議会 事務局長
事務員	中尾 敦子	朝来地域自治協議会 事務員

朝来支所

委員	松島 豊	まちづくり協働部 朝来支所 課長
委員	竹村 博文	まちづくり協働部 朝来支所 課長補佐

地域協働プロジェクトチーム

委員	藤原 麻代	市長公室 秘書広報課 主事
委員	楠 佑介	市長公室 総合政策課 主任
委員	青田 基希	市民生活部 税務課 主事
委員	谷口 琢三	健康福祉部 社会福祉課 主査
委員	羽瀧 慎也	産業振興部 観光交流課 上席主査
委員	中島 一寿	都市整備部 地籍調査課 主任

市民協働課

市担当職員	中嶋 大介	まちづくり協働部 市民協働課 課長補佐
市担当職員	安田 雅子	まちづくり協働部 市民協働課 係長

アドバイザー他

まちづくりアドバイザー	柏木 登起	NPO 法人 シミンズシーズ 代表理事
コンサルタント	中島 英樹	(一社) 朝来まちづくり機構 理事/事務局長

第2次 朝来地域まちづくり計画

～自然と共生し、夢と希望のある

持続可能なまち～



【写真提供：吉田 利栄】

佐中 千年家



多々良木ダムより

朝来地域自治協議会

事務局 〒679-3431 兵庫県朝来市新井 73-1
(朝来市役所 朝来支所前)

開館時間 平日 8時30分～17時

TEL 079-677-1165 (代)

FAX 079-677-1513 (代)

メール asago-jichikyouto@asago-net.jp

ブログ <http://asago-jichikyouto.cocolog-nifty.com/>

編集・制作 朝来地域まちづくり計画策定委員会

2021（令和3）年3月
朝来地域自治協議会